

県立中央病院ドクター

ワンポイントアドバイス



高崎 元宏

食道静脈瘤(りゅう)Ⅱ
 静脈瘤Ⅱは、肝硬変のように
 肝機能が著しく低下した
 状態にある人に、時々見ら
 れる病気です。

これは食道の下部を中心
 に、正常では存在しないよ
 うな大きな血管ができてく
 る病気で、ときには静脈瘤
 が破裂して大出血を起こす
 ことがあります。肝臓の病
 気は、かなり悪化するまで
 自覚症状が出ないことが多
 いですが、静脈瘤も破裂す
 るまで全く症状がないのが
 普通です。

昔は、静脈瘤破裂のため
 大出血を起こした患者さん
 の半数近くが亡くなるとい
 われ、非常に恐ろしい病気
 でしたが、最近では出血し
 ても適切な治療を受ければ

命にかかわることは少なく
 なりました。とはいって

も、すぐに治
 療を受けなけ
 れば、命の危
 険があること
 は同じですか
 ら、出血を起
 られています。

治療することが多くなりま
 した。

硬化療法は、日本では十
 五年ほど前から普及してき
 た比較的新しい治療法で
 す。これは、内視鏡(胃カ
 メラ)を使って、静脈瘤内

に硬化剤という薬を注射
 し、静脈瘤の血管を破壊す
 る方法です。県内でもいく
 つかの施設で硬化療法が行
 われるようになり、既に多
 くの患者さんが治療を受け
 られています。

こす前の静脈 治療のスケジュールは、
 瘤を早期に発 施設によって違うようです
 見し、治療を が、一週間に一度この治療
 することが大 を行い、だいたい三回で静
 事になってき 脈瘤の消失が得られます。
 ます。 治療後の成績は良好であ
 り、また合併症は、発熱や

かつては静 かつては静
 脈瘤の治療と 胸痛が数日間みられるぐら
 しては、大き いが普通です。

な外科手術が 肝臓が悪いといわれた人
 必要であった 全員に静脈瘤ができるわけ
 のですが、も ではなく、むしろあまり多
 くともと肝臓が悪い人に、負
 担の大きい大手術をするわ
 けですから、術後の経過が
 思わしくない場合もありま
 した。そういうわけで、最
 近はもっぱら手術をせず
 です。

食道静脈瘤の治療法

に、食道静脈瘤硬化療法
 (硬化療法)という方法で

(消化器科副医長)